

薬学実習Ⅲ

責任者・コーディネーター	臨床医化学講座 那谷 耕司 教授		
担当講座・学科(分野)	臨床医化学講座、薬剤治療学講座		
対象学年	4	区分・時間数	実習 30 時間
期間	前期		
単位数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

薬学実習Ⅲでは、医療薬学、薬剤治療学、病態生化学に関連する各講義で得た各種疾患の病態と薬剤治療に関する基本知識に基づき、指定された疾患に関する症例について情報を集めてグループ討議する。さらに、具体的な臨床検査値・症候に基づいた薬剤治療法の意義および代表的な処方箋について討議、実習する。本実習は、「臨床医化学」「処方解析学」双方の連携を図りながら、実務基礎実習と連動して系統的に行う。そのため、全日程の出席と各講座の担当する実習全てに合格することを原則とする。

・特記事項・その他

担当講座からの指示が記されている場合は、それに従うこと。記載がない場合は、各実習時期に担当講座の指示に従うこと。

薬学実習Ⅲ(臨床医化学実習)

責任者・コーディネーター	臨床医化学講座 那谷 耕司 教授		
担当講座・学科(分野)	臨床医化学講座		
対象学年	4	区分・時間数	実習 30 時間
期 間	前期		

・ 一般目標 (GIO)

医療薬学、病態生化学、薬剤治療学、薬理学等の講義を通して習得した各種疾患の病態、薬剤治療に関する知識に基づき、指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬剤治療法を考案できる能力を身につけることを目指す。

・ 到達目標 (SBO)

1. 代表的な疾患における薬剤治療と非薬剤治療（外科手術、食事療法など）の位置づけを説明できる。
2. 適切な治療薬の選択について、薬効薬理、薬物動態に基づいて判断できる。
3. 指定された疾患例について必要な情報を収集し、適切な薬剤治療法を考案することができる

・ 講義日程

(矢) 東 104 1-D 講義室、(矢) 東 SGL 11~18、43~48

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
1	6/9	月	3-4	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授 高橋 巖 助教 ナウシン ジャマル 助教	実習ガイダンス 症例シナリオの呈示 (実施部屋：東 4-C, 4-D 実習室)
2	6/16	月	3-4	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授 高橋 巖 助教 ナウシン ジャマル 助教	実習ガイダンス 症例シナリオの呈示 (実施部屋：東 4-C, 4-D 実習室)
1	6/10	火	3-4	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授 高橋 巖 助教 ナウシン ジャマル 助教	症状、検査結果などから考えられる疾患について討議する。 (実施部屋：東 4-C, 4-D 実習室)
2	6/17	火	3-4	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授 高橋 巖 助教 ナウシン ジャマル 助教	症状、検査結果などから考えられる疾患について討議する。 (実施部屋：東 4-C, 4-D 実習室)

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
1	6/11	水	3・4	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授 高橋 巖 助教 ナウシン ジャマル 助教	疾患に対する適切な治療法について討議する。 (実施部屋：東 4-C, 4-D 実習室)
2	6/18	水	3・4	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授 高橋 巖 助教 ナウシン ジャマル 助教	疾患に対する適切な治療法について討議する。 (実施部屋：東 4-C, 4-D 実習室)
1	6/12	木	3・4	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授 高橋 巖 助教 ナウシン ジャマル 助教	実習全過程のまとめ (実施部屋：東 4-C, 4-D 実習室)
2	6/19	木	3・4	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授 高橋 巖 助教 ナウシン ジャマル 助教	実習全過程のまとめ (実施部屋：東 4-C, 4-D 実習室)
1	6/13	金	3・4	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授 高橋 巖 助教 ナウシン ジャマル 助教	実習全過程についてのプレゼンテーション (実施部屋：東 4-C, 4-D 実習室)
2	6/20	金	3・4	臨床医化学講座	那谷 耕司 教授 大橋 一晶 准教授 高橋 巖 助教 ナウシン ジャマル 助教	実習全過程についてのプレゼンテーション (実施部屋：東 4-C, 4-D 実習室)

・教科書・参考書等（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	薬物治療学 改訂2版	吉尾 隆 他 編	南山堂 (定価 8,800 円)	2013
参	治療薬マニュアル 2014	北原 光夫、上野文昭、越前 宏俊 編集	医学書院 (定価 5,000 円)	2014
参	スタンダード薬学シリーズ6 「薬と疾病Ⅱ 薬物治療 (1)」 改訂2版	日本薬学会 編	東京化学同人 (定価 5,600 円)	2012

・ 成績評価方法

実習への取り組み方、プレゼンテーション、実習レポートなどから総合的に評価する。

・ 予習復習のポイント

予習としては、予定されている実習内容を予め確認しておくこと。復習としては、他の班の症例も含め、症例解析の結果について整理し、まとめておくこと。

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
実習	iPad (Apple ME906J/A)	1	実習資料の閲覧

薬学実習Ⅲ(処方解析学実習)

責任者・コーディネーター	薬剤治療学講座 三部 篤 教授		
担当講座・学科(分野)	薬剤治療学講座		
対象学年	4	区分・時間数	実習 30 時間
期 間	前期		

・一般目標 (GIO)

代表的な疾患における治療薬の作用および選択基準を理解し、臨床における薬剤治療法の可能性を議論することにより、治療薬の適否を議論できる。

・到達目標 (SBO)

1. 代表的な疾患において適応が認められている治療薬について効能、効果、用法、用量を列挙できる。
2. 代表的な医薬品について警告、禁忌、副作用を列挙できる。
3. 代表的な医薬品について医薬品間での薬物相互作用を列挙できる。
4. 代表的な医薬品と食物及びサプリメント間での相互作用を列挙できる。
5. 薬剤治療学的な立場から、合併症などを併発した病態を理解し、個々の症例に適した薬剤選択の根拠を説明できる。

・講義日程

(矢) 東 104 1-D 講義室、(矢) 東 403 4-C 実習室

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
2	6/9	月	3	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	実習概説、課題処方1を用いたSGD+発表会(実習概説：東4-C実習室)
2	6/9	月	4	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	実習概説、課題処方1を用いたSGD+発表会(実習概説：東4-C実習室)
1	6/16	月	3	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	実習概説、課題処方1を用いたSGD+発表会(実習概説：東4-C実習室)
1	6/16	月	4	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	実習概説、課題処方1を用いたSGD+発表会(実習概説：東4-C実習室)
2	6/10	火	3	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	課題処方2を用いたSGD (SGL 教室)

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
2	6/10	火	4	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	課題処方 2 を用いた SGD (SGL 教室)
1	6/17	火	3	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	課題処方 2 を用いた SGD (SGL 教室)
1	6/17	火	4	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	課題処方 2 を用いた SGD (SGL 教室)
2	6/11	水	3	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	課題処方 2 発表会 (東 4 -C 実習室)
2	6/11	水	4	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	課題処方 2 発表会 (東 4 -C 実習室)
1	6/18	水	3	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	課題処方 2 発表会 (東 4 -C 実習室)
1	6/18	水	4	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	課題処方 2 発表会 (東 4 -C 実習室)
2	6/12	木	3	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	課題処方 3 を用いた SGD (SGL 教室)
2	6/12	木	4	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	課題処方 3 を用いた SGD (SGL 教室)
1	6/19	木	3	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	課題処方 3 を用いた SGD (SGL 教室)
1	6/19	木	4	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	課題処方 3 を用いた SGD (SGL 教室)
2	6/13	金	3	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	課題処方 3 発表会 (東 4 -C 実習室)

クラス	月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
2	6/13	金	4	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	課題処方3 発表会 (東4-C 実習室)
1	6/20	金	3	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	課題処方3 発表会 (東4-C 実習室)
1	6/20	金	4	薬剤治療学講座	三部 篤 教授 手塚 優 助教 青柳 利紀 助教	課題処方3 発表会 (東4-C 実習室)

・教科書・参考書等 (教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	治療薬マニュアル 2014	高久史麿、矢崎義雄 監修	医学書院 (定価 5,000 円)	2014
参	処方がわかる医療薬理学 2012-2013	中原 保裕	Gakken (定価 3,150 円)	2012
参	病気がみえる 1～10	医療情報科学研究所 編	メディックメディア	

・成績評価方法

- 1) ディスカッションへの参加姿勢 (主に態度を評価)
- 2) 全体発表会での質問の有無
- 3) 提出課題

・予習復習のポイント

予習としては、実習書をよく読んでおくこと。復習としては、実習中に作製された各課題のプロダクトをそれぞれ各個人でまとめておくこと。